



かけこ

掛合分校
後援会
事務局
(0854)
62-0084



『小さな挑戦、小さな善行、大きな志』



校長
山崎 誠

連日猛暑が続いた夏でしたが、後援会の皆様にはいかがお過ごしでしたでしょうか。

さる七月六日から十二日にかけての大雨により、被害を受けられました皆様に心よりお見舞いを申しあげます。学校行事や地域活動はもちろん、日頃の教育活動において、地域の皆様から温かいご支援ご協力をいただいていることを実感しているだけに今回のことには心を痛めているところです。学校から明るい話題を提供していくことも復興復旧をしていく上では大事なことであり、今後ますます後援会、地域の方とともに学校を盛り上げていくことを肝に銘じていきたいと思っています。

さて、春の風が、学校に花の匂いや鳥のさえずりを運ぶ四月、二十五名の新生を迎え第六十九回の入学式を行いました。昭和二十八年創立三万屋高等学校掛合分校として設立認可され、令和五年（二〇二三年）に創立七周年を迎えることは、入学式が挙行された回数からも実感するところです。

入学式、また始業式において共通の話題としたのが、今年度の出発にあたり定めた合言葉です。それが、「小さな挑戦、小さな善行、大きな志」。自立した大人となるために。自立した十八歳の大人として卒業するために何を心がけていくべきかという視点で考えた合言葉です。

自立といっても、自律の意味も含め様々な意味合いがあります。選挙権年齢はすでに十八歳に引き下げられ主権者としての自立も求められています。二〇二二年四月一日からは民法上の成年年齢が十八歳に引き下げられます。成人になると、保護者の同意なしに契

約ができるようになり、契約に関する未成年者取消権が認められなくなります。十八歳になることの重みは増しており、大人としての自覚と責任を持つことが大切になってきています。

だからこそ、「小さな挑戦」の積み重ねをしていくことで、小さな変化を求める主体性を育むことが大切であると考えます。明日の自分に出会うのが楽しみな日々を過ごしてもらいたいと願っています。また、自己実現においては他者意識を忘れないことも大事です。「小さな善行」、一日一善の気持ちを持つことは、誰かを大事にする気持ちを養うとともに、誰もが大事にされる安心安全な学校環境をつくることにもつながります。また、多角的な視点を持つことにつながります。めまぐるしく変革する現代社会だからこそ、「確かで大きな志」を持ち、ぶれずにやり遂げる力を育むことも大事です。

学校とは、「夢と絆を育む」ところであり、あらゆる教育活動を通じて、学力、人間力、社会力を育成します。新型コロナウイルス感染症がまだ収束しない中、新しい学習指導要領が来年度入学生から始まるなど、学校を取り巻く環境や教育が一層変化している今、変化を止めず、「行きたい学校、行かせたい学校、応援したい学校」を目指して魅力化を進めていきたいと考えています。

皆様には、これからもどうかチーム掛高の一人としてお力添えをいただきますようお願い申し上げます。なお、学校の取組や目指す方向をわかりやすくするお伝えするため、グラウンドデザインを策定しました。現在島根県教育委員会ホームページでも公開していますので、学校のホームページとあわせてご覧いただければ幸いです。



教職員異動のお知らせ

春の人事異動により、六名の教職員をお送りしました。在任中は、掛合高校の発展のためにご尽力いただき、ありがとうございました。新しく赴任された先生方には、これからお世話になります。

○転任者

校長	倉崎 千草
副校長	吉川めぐみ
地歴・公民科	山岡三男
理科	大賀 学
英語科	竹崎 紀子
家庭科	川谷久美子

○新任者

校長	山崎 誠
副校長	竹崎 修次
地歴・公民科	岡 一宏
理科	大門 透
英語科	大野真由子
家庭科	遠藤 聡子
業務アシスタント	長谷川直人
炊事員	板垣 菊枝

令和三年度入学式

～新生二十五名を迎えて～

四月十二日（月）、掛合高校講堂において、令和三年度入学式が行われました。今年度の新生は二十五名で、来賓の景山俊太郎後援会長と吉長雅昭PTA会長が隣席のもと、晴れやかなムードの中で行われました。

新型コロナウイルス感染症対策で、残念ながら在校生は参加しませんでした。当日は天気も良く、明るい日差しが差し込む中で、新生は掛合高校での新たな一歩を踏み出しました。

式辞の中で山崎校長先生から「小さな挑戦、小さな善行、大きな志。自立した大人となるために」という言葉が贈られ、この言葉を学校での合言葉にすることが述べられました。相



手を気遣う気持ちを持って、絆のある学校を作っていくこと、それが誰にとっても安全・安心な学びの環境を作り、その中で人は挑戦し続けることができる。そして、

それぞれが確かな志をもち、あきらめず挑戦を継続することで人は成長できるということ、生徒に語りかけられました。

また、新生代表の藤原秀伍さんが、「ともに掛合分校で学ぶ同級生と協力し、助け合いながら、掛合分校の生徒としての自覚と誇りを持ち、心身ともに成長していきたいと思っています。そして、常に向上心を持ち、学業や部活動に励み、自分の進む道を見つけ、しっかりと歩んでいくために日々努力することをここに誓います。」と力強く宣誓しました。

入学式のあとは、掛合高校玄関前で保護者の方も交えて記念撮影が行われ



ました。今年は、残念ながら掛合高校名物の桜の季節とは重なりませんでした。が、桜に勝る笑顔あふれる一日となりました。

遠足 永井隆記念館、松江フォーゲルパーク

四月二十三日（金）、掛合高校の全学年がそろって遠足に出かけました。今年度の遠足の行き先は、三万屋町の「永井隆記念館」と宍道湖北岸にある「松江フォーゲルパーク」でした。

当日は、学年毎に三台のバスに乗り込み、まずは「永井隆記念館」を訪れました。リ



ニューアルオーブンした直後ということもあり、施設内はとてもきれいに整



備されていました。各学年ローテーションで、永井隆博士の生涯を説明したビデオの観

聴、陳列された永井博士直筆の手紙など各種資料の見学、整備された庭園の散策や図書館の見学をしました。地元出身の偉人の偉大な功績を初めて知る生徒も多く、平和の尊さを改めて確認するとてもよい機会となりました。

また「松江フォーゲルパーク」では、園内を飾る花の数に多くの生徒が圧倒されていました。置物と間違えるようなフクロウやかわいらしいペンギン、「動かない鳥」として有名なハシビロコウなど、全国的にも知られるアミューズメントパークを生徒は思い思いに楽しめました。芝生広場で行われたバードショーでは、頭上すれすれに飛ぶハ



ヤブサやタカの大きさに驚く生徒も見られました。当日は天気も良く、友人との親睦も深まるとても有意義な一日となりました。

一年生 地域学習 掛合町内フィールドワーク

六月八日（火）、掛合高校一年生が掛合町内の五地区に分かれて、地域の現状と課題を調査し、課題解決に向けた提案を行う学習活動が、本格的にスタートしました。

この日は、一年生二十五人が五人ずつ五グループに分かれ、掛合町内各地区（波多、入間、掛合、松笠、多根）の交流センターを訪れました。各地区自治組織の代表の方から、各地区の現状や課題などについて説明を受け、生徒からの質問に答えていただきました。

このうち、掛合地区では、掛合交流センターの白築敏彦センター長からの説明のあと、酒蔵「竹下本店」内にある「かけや酒蔵資料館」や道の駅「掛合の里」緑地公園などを案内していただき、掛合地区の魅力伝えていただきました。

また、松笠地区では、松笠自治振興協議会の板持保吉会長の引率で、「日本の滝百選」にも選定されている「龍頭が滝」を見学しました。生徒はその迫力に圧倒されていました。

入間



多根

松 笠



二年生 探究学習
吉田町内農家とのコラボ

五月十一日（火）、掛合高校二年生が
宇山宮農組合、雲南市等と協働しなが
ら取り組む探究学習が本格的なスタ
ートを切りました。

この日は、雲南市吉田町民谷宇山
地区を訪れ、宇山宮農組合様のご指導の



もと、水田
で稲の移植
えを行いま
した。現地
に到着後、
この地でと
れる「うや
ま米」（品種
は「コシヒ
カリ」また

掛 合



波 多



今後は「総合的な探究の時間」の中で、
各地区の現状と課題をまとめることに
し、課題解決策について、高校生の目
線で新たな提案を行う学習活動を行い、
秋の文化祭等で発表する予定です。

は「つや姫」の特徴などについて説明
を受けました。

お昼は、宇山宮農組合様に準備して
いただいた「うやま米」を使ったカレー
ライスを味わいました。その後、いよ
いよ田植え体験。一時間半近くの時間
をかけ、およそ十アールの水田に稲を
植えました。初めて体験する生徒、教
職員も多く、悪戦苦闘しながら、何と
か予定されていた区画に稲を植えるこ
とができました。



六月十七日（木）には、宇山宮農組
合の藤井章組合長と須山光雄副組合長
をお招き
し、イン
タビュー
を行う活
動を行っ
ました。
生徒から
は「宇山
地区でお
いしいお
米がとれ
る秘訣は何か」「うやま米を最もおいし
く食べられる食べ方は何か」などたく
さんの質問が投げかけられ、それらの
質問に丁寧に答えていただきました。



三年生 キャリア学習
就職ガイダンス、林業体験

七月二日（金）、広島から外部講師二
名をお招きし、掛合高校三年生を対象
に就職ガイダンスが行われました。



最初、講
師の先生
から働くこ
との意義や
多様な職業
に関する理
解などにつ
いての講義
を受けたあ
と、面接等
への対策と
して、自己ア
ピール文の作
成、模擬面
接などの演習
を行いました。

就職・進学を控えた生徒は、全員が
真剣な表情で全てのプログラムに積極
的に取り組んでいました。進路選択を
前に、自分自身を振り返る大変よい機
会になりました。



また、七
月十五日
（木）、飯
南町にある
島根県中山
間地域研究
センターに
おいて、中
山



間地域の
現状と課
題を認識
すること
を目的
に、林業
体験学習
が行われ
ました。

午前中
は、同センターの広大な敷地内にある、
鳥獣対策やきのこ類栽培の研究施設等
を見学した後、薬用としての効果が注
目されている、クロモジの葉を使った
お茶の試飲を行いました。

午後は、林業体験学習として、ドロー
ンの操作実習や丸太の切り出し体験、V
Rを使った木材の伐採・運搬の体験な
ど、島根県の林業の現状や同センター

における研究成果について、体験的に
学ぶことができました。生徒はたくさ
んの機器に触れ、島根県の農林業の先
進性を肌身で感じる事ができたよう
でした。

地域・社会への貢献活動
ごみゼロ、掛小読み聞かせ



六月十七日
（木）、掛合
町内の保・小・中
高が連携して
毎年度行っ
ている活動「ご
みゼロ大作戦」
に全校生徒が
参加しました。
この日は、
四校園の児童・

生徒が町内各地区に分かれ、それぞれ
指定された場所の清掃活動を行いま
した。各地区とも高校生の進行により開
会式を行った後、グループごとに自己
紹介を行い、その後清掃活動に入りま
した。それぞれの場所で保・小・中・
高校生と大人が声を掛け合い、助け合
いながら清掃活動に汗を流しました。

また、地域への貢献活動として、掛
合高校の生徒が月一回のペースで掛合
小学校を訪れ、朝礼の時間を利用して
小学生に絵本の読み聞かせを行って
います。



当番の生徒は、あらかじめ図書館な
どで探して
きた絵本を
実物投影機
で表示しな
がら、小学
生に優しく
読み聞かせ
ます。緊張
して練習の
成果を十分
に出せない
生徒もいま
すが、各自
が聞き手に
わかりやす
く伝えるこ
との大切さ
を学ぶこと
ができるこ
うな効果も
生まれてい
ます。

今後このような校種を越えた連携
による地域・社会への貢献活動を続け
ていく予定です。

令和三年度体育祭
全員の心をひとつに

七月十日（土）、令和三年度体育祭が
開催されました。大雨の影響もあり、
当初予定していたグラウンドでの開催を
変更し、掛合体育館を会場として行わ
れました。



大会テーマは「勲力協心（りくりよ
くきょうしん）」全員の心をひとつに
く」で、開会式
では赤組色長の
山野内陸斗さん
と青組色長の青
木涼さんが高
らかに選手宣誓
を行った後、八
種目の競技が行
われました。「借
り物競走」では、
バスケットのフ
リースローを入
れてからボール
を持って帰る、
観客席の保護者
を連れてゴール
するなどの難題
が示され、苦戦
しながら楽しく
競技に取り組み
ました。相手の
ユニフォームを
借りてゴールす
るというお題に
は、お互いのユ
ニフォームを取
り合いながらゴ
ールしたために
、両者失格とな
るという一幕も
あり、場内の笑
いを誘っていました。

青 組



赤 組



今後、後輩
たちに引き
継がれ、掛
合の良き伝
統として
残っていき
ます。

当日は、
保護者の皆
様にたくさ
んお出かけ
いただき、
PTAの皆様
にはジュース
の販売にご
協力いただき
ました。誠に
ありがとうございました。

事務局より

平素より、後援会の皆様には掛合高校
の教育活動に、格別のご理解とご尽力を
いただき、また会費の納入にもご協力い
ただきありがとうございます。

生徒の学習活動や施設の充実に役立
てて参ります。今後とも変わらぬ支
援、ご協力をいただきますようお願い
いたします。